



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田 元 照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第 160 号

平成30年
7月27日
発行

平成30年度定時総会

平成30年5月18日午後4時からホテル札幌ガーデンパレスにて平成30年度定時総会が開催されました。総会に先立ち札幌市教育委員会長谷川児童生徒担当部長から平成30年度の体制の説明があり、幼児教育センター野切担当課長から職員のご紹介をいただいた後、丸谷副会長の「開会の言葉」でスタートしました。前田会長の挨拶に続き来賓としてご臨席の札幌市副市長岸光右様、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長小林邦章様から祝辞をいただきました。相良振興委員長より定数数の確認が行われた後、出席者の中からふくすみ幼稚園園長大川秀明先生が議長に選任され、議事録署名人に札幌いづみ幼稚園園長杉原美珂子先生、札幌みづほ幼稚園園長須合國彦先生の両名が指名され議事に入りました。

「議案第1号平成29年度事業報告及び決算承認の件」各委員会（総務・振興・研究・広報・認定こども園）の委員長及びPTA担当副会長・政令担当理事から事業報告がなされ、坂本事務局長より平成29年度の収支決算の説明と監事による監査報告があり賛成多数で承認可決されました。「議案第2号理事選任の件」「議案第3号監事選任の件」については坂本事務局長より説明があり「議案第4号役員の選任及び承認の件」は坂本

事務局長から会長候補者の選任手続きについて、前田会長から委員長候補の選定経緯の説明があり賛成多数で承認可決しました。

その他として前田会長から平成30年度新会員として7園の加入が理事会で承認されたことの報告があり新会員の紹介が行われました。他に会員からの提出議案もなく大川議長がすべての議案が審議終了したことを告げて退任しました。

報告事項として丸谷副会長より平成29年度中の理事長・園長の異動が報告され、また前田会長より退任理事を代表して振興委員長だった相良先生へ記念品等の贈呈があり、丸谷副会長の「閉会の言葉」で平成30年度定時総会は滞りなく終わりました。



平成30年度代表者会議報告

5月18日(金)午後2時30分から札幌ガーデンパレスにて平成30年度の代表者会議が開かれました。

今回は北海道総務部法務・法人局学事課から猪俣主幹・高橋主査のお二人に「私立幼稚園の運営等について」「道の私学助成について」「私立幼稚園の適正な管理運営について」其々お話があり、管理運営費補助金の概要説明に続き道内私立幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行状況や人材確保支援（処遇改善）制度の内容など細かに述べて頂いた後、札私幼前田会長の質問にも猪俣主幹が丁寧に答えて下さり、まとめに「幼稚園は納付金や補助金を主な財源として運営され適切な支出を行う責任があり、教育機関として責任を果たすために関係法令に従い適正に管理運営されなければならない。」ということを経営者のみなさんに今一度促す形で午後4時終了しました。



新執行役員の紹介

会 長 前田 元照（百合が原幼稚園）
副会長兼総務委員長（札P連担当）
敷 淳一（大通幼稚園）
副会長（研究・認定こども園担当）
丸谷 雄輔（札幌ゆたか幼稚園）
副会長（振興・広報担当）
中村 みどり（札幌白樺幼稚園）
振興委員長 太田 真理（しろいし幼稚園）
研究委員長 芝木 孝満（なかのしま幼稚園）
広報委員長 米永 桃子（澄川幼稚園）
認定こども園委員長 古川多三和（森の幼稚園）
北私幼等担当理事・振興会長
前鼻 英蔵（札幌西野幼稚園）
専務理事兼事務局長 坂本 将司

役員挨拶・就任挨拶

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長

前 田 元 照



札幌私幼会長に就任し、4期目(7年目)を迎えました。2期目の折り返し(平成27年度)で、子ども・子育て支援新制度がスタートし、激動の6年間で役員の方々に支えて頂きながら過ごしてまいりました。そして、今一番の制度改革は平成31年10月より消費税が10%に引き上げられると同時にスタート予定の幼児教育(幼稚園・保育園問わず3歳から5歳までの子ども達の保育料)の無償化です。私学助成園は全員の子供達が就園奨励費において各園の保育料の範囲内で上限額(308,400円)まで補助を受けられることに、新制度に移行した幼稚園・認定こども園は、全員の子供達が初めから保育料負担がゼロになるのですから、本当にそうなの?と疑っても過言ではありません。新制度が始まり5年目経過する来年度は見直しも始まります。認定こども園への移行に伴い、札幌私幼加盟園も145園となりましたが、運営形態は様々です(私学助成園・新制度の幼稚園・幼稚園由来の認定こども園・保育園由来の認定こども園)。全加盟園が、札幌私幼に加盟し時には助け合い、時には互いに切磋琢磨、札幌の就学前の子ども達と勤務して頂いている先生達の為に、執行部一丸となって汗をかいてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

丸 谷 雄 輔



この度、4期目の札幌私幼の副会長に就任し、「研究委員会」と「認定こども園委員会」の担当を仰せつかることになりました。「研究委員会」では、会員園においての「保育の質の向上」のために少しでも力になれるよう、委員の先生方の英知を合わせ、「質の高い研修会」の企画運営に責任者として力を注いでいきたいと思っております。また、「認定こども園委員会」では「子ども・子育て支援新制度」に対して、あらゆる角度から課題点等を整理し、会員園の経営の安定に繋がるような役割を果たせるよう努めて参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解ご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

藪 淳 一



新制度がスタートして3年余りがたちました。加盟園の3分の1が認定こども園になった今、幼稚園と保育所の補助金のあり方を整理すべき時期にきています。保育所にはあるが幼稚園にはない制度、幼稚園にはあるが保育所にはない制度、ある程度の整合性を求めないと、施設形態や支給認定区分によって不利な状況に置かれてしまう子どもや保護者が出てしまいます。そして来年10月には幼児教育の無償化が実施される予定です。すべての加盟園に関係することで、新制度施行以上ともいえる大きな問題ですが、各園も保護者も大きな混乱に陥らないよう、具体的な仕組みについて札幌市と協議を重ね、その情報を加盟園にも保護者にも迅速に提供していくことが大切だと考えております。各委員会やP連とも連携を図りながら、総務委員長として諸課題に対応していきます。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

中 村 みどり



この度、2期目の副会長を務めることになりました。担当の委員会は、引き続き「振興委員会」と新たに「広報委員会」です。新制度がスタートして4年目を迎える中、待機児童対策が先行し、様々な種類の施設が増え、同時に幼稚園教諭・保育教諭の人材確保が年々厳しくなってきました。満3歳児入園の希望者の増加、2歳児の受け入れ等、幼稚園・認定こども園を取り巻く環境も、課題も年々変化してきています。今年度は「無償化」についての情報にも目が離せません。

そんな中で「質の高い教育の提供」のために、課題点を浮き彫りにし、会員の皆さまの声や要望に耳を傾け、汗を流して参りたいと思っておりますので、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 振興委員長

太 田 真 理



この度、振興委員長を仰せつかりました白石幼稚園の太田真理です。待機児童対策が進む一方で、札幌でも人材確保が難しく深刻な問題になりつつあります。また、保育の質を担保する為にも人材確保・育成に力を入れていかなければいけません。今年度から振興委員会では、新たな事業としてこの問題に取り組むことになりました。この職業の

“良さ”や“やりがい”を養成校に通う学生のみならず、高校生にもPR出来る場や、早期離職を防止する為の取り組みを模索していきたいと思っています。

また、新制度や幼児教育の無償化など制度が色々変わってきていますが、私学助成園の先生方の要望や意見を集約し、北私幼等に訴えていく事も振興委員会の大変な役割だと考えています。会員園の皆さまにもご意見を頂きながら、進めて行きたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 研究委員長

芝 木 孝 満



この度、2期目の研究委員長を仰せつかりました認定こども園なかのしま幼稚園の芝木孝満と申します。幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の改定や先生方の処遇改善、そして免許更新と年々研修の重要性が増していると感じております。その中で、今必要とされている研修、先生方が学びたい研修は何かということをしっかと考え、委員会の先生方と力を合わせて多くの方に参加していただける研修会を企画運営していきたいと思っております。ご理解ご協力、そしてご指導のほど宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 広報委員長

米 永 桃 子



今期より札私幼の広報委員長を仰せつかりました南区澄川幼稚園の米永桃子です。就学前の子ども達を取り巻く制度がここ数年で目まぐるしく変わる中、幼児期に質の高い保育を展開するためにも待機児童軽減にも人材確保・育成から始めることが第一なのではないかと感じます。

広報委員会が中心として開催している【就職フェア】も今年は5年目を迎えます。今の状況を踏まえ、会員の皆様にもご意見をいただきご協力いただきながら今後どのように開催してゆけば良いのかを考えたいと思っております。また、広報誌を通して新たに会員になられた加盟園の皆様にも札私幼の取り組みや活動などについても広く知っていただけるよう取り組んで参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 認定こども園 委員長

古 川 多 三 和



この度、認定こども園委員長を仰せつかりました森の幼稚園の古川多三和です。さて、最近読んだ文献では、3歳の終わりまでに「3000万語」の語彙の格差が生まれ、身近な大人とのやりとり、そこで聞いた言葉の量と質が、小学校や中学校での学力などに影響し、結局はその人の人生全体にも影響するそうです。そう考えたとき、幼稚園として未満児にしてあげられることは何だろうか。認定こども園や保育園の職員配置基準で言葉の量や質が保証できるだろうか。そのような子どもの発達の観点から、現制度を見直し、一つでも多く改善できるよう努めて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 北私幼等担当理事・振興会長

前 鼻 英 蔵



北私幼等担当理事、振興会会長の前鼻です。主に政令指定都市団体協議会の運営委員と議連対策を行っています。

政令指定都市20都市を包んでいる政令指定都市団体協議会は、夏の全体会と冬の協議会があり、また夏に次世代交流会を開催して、全国の政令指定都市の方と情報交換を緊密に取って各都市への施策の反映の一助になるよう活動をしています。

振興会の役割は、公金が入っている幼稚園では、幼稚園のお金を使っただけの活動や、幼稚園での特定議員の選挙に絡む活動は公職選挙法違反になります。そのため、振興会という組織を編成して、振興議員連盟の市議らの応援を個人のお金で応援をする活動を取り仕切る事を行っています。様々な施策は最終的に議会で承認されなければ始動できません。我々の要望が否決されないよう応援することが振興会の役割です。来春は、統一地方選挙がありますので、ご協力の程お願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園PTA連合会 会長

佐々木 和 也



本年度、札幌市私立幼稚園PTA連合会の会長を務めさせていただきます、佐々木和也と申します。PTA理事のメンバーの皆さまと共に頑張ってもらいますので、どうぞよろしくお願い致します。

「PTA=大変そう…」という多くの声を聞くように、ほとんどの方がPTAの活動に対してマイナスのイメージを持たれているのではないのでしょうか。

実際のところ、地域によっても度合いはまちまちでしょうが、いま現在ほとんどのPTAでは、学校のお手伝いを主な活動としているでしょうし、保護者も先生たちもPTAとは学校のお手伝いをする団体だと認識している方が多いようです。しかしながら、本来のPTAとは、公的には「社会教育団体」とであると定義されており、「成人教育の場であり、幅広い活動を通して、共に学び成長していける組織」とであるという解釈になるそうです。私たちは「自分育てが子育てにつながる」という考えのもと、さまざまな活動や交流を通して、保護者の皆さまが共に学びあい成長することができるたくさんの機会を創出してまいります。

ノーベル賞経済学者のジェームズ・J・ヘックマン教授はその著書「幼児教育の経済学」のなかで、40年以上にもわたる追跡調査から、5歳までの教育がやる気や忍耐力を伸ばし、後の人生を変えると語っておられます。協調性や忍耐力、思いやりや目標への情熱といった「非認知能力」を高めることは、子どもたちにとって、より質の高い人生を生きていくうえでも重要なことであります。

本年度の札幌市私立幼稚園PTA連合会では、保護者である私たち自らが共に学び、成長することで、より質の高い幼児教育や家庭教育の充実向上へとしっかりと目を向けて取り組んでいきます。

健やかな子どもたちを育むことは、正に地域社会を作ることであり、未来を創造していくことであると考えます。

その素晴らしくも崇高な事業に寄与できることに感謝しつつ、共に成長していけるよう努めてまいります。

広報委員の紹介

副委員長・榎本 真樹（なかのしま幼稚園）
 委員・清水 貴子（札幌あかしや幼稚園）
 委員・曾我部 幸利子（つきさむ幼稚園）
 委員・天保 聖子（西岡ふたば幼稚園）
 委員・石原 範明（真駒内幼稚園）



P連ふれあい交流会報告

札私幼PTA連合会【ふれあい交流会】が今年も7月3日(火)真駒内セキスイハイムアリーナで開催されました。今年は開会式に北海道知事・高橋はるみ様と札幌市長・秋元克広様がご来賓としてご参加いただき、ご祝辞をいただくとともに、お二人の【始球式】を皮切りに保護者の皆様の熱い戦いが幕を開けました。

37園・79チーム選手はもちろん運営役員さんや応援も含め総勢1500人が集結しての会でした。【玉入れ】の熱い戦いの結果は下記の様になりました。上位のチームのみご紹介させていただきます。順位の詳細は【札P連ホームページ】でご確認下さい。

最後になりますが大会運営にご協力いただきましたP連役員の皆様お忙しい中、本当にありがとうございました！

- ★優勝★ 白石区 札幌白樺幼稚園 サツシラドリーム4ナント3連覇達成です！！
- ★準優勝★ 厚別区 ひばりが丘明星幼稚園 明星ビレッジ
- ★3位★ 豊平区 西岡ふたば幼稚園 FUTABAおひさまシーソー
- ★4位★ 中央区 ひかり幼稚園 HIKARI
- ★5位★ 豊平区 幌南学園幼稚園 ばら&すみれ



平成30年度 札幌市中堅教諭等資質向上研修

5月9日(水)、札幌市教育委員会が主催の「札幌市中堅教諭等資質向上研修」の第1日目が、札幌市生涯学習センター ちえりあ にて開催されました。

1日目は全体オリエンテーションとなっており、開講挨拶では、平成29年4月より従来の10年経験者研修が廃止され本研修が開始したことや、札幌市の教員育成指標に基づき、中堅教諭の資質向上が図れるよう研修内容を充実させていることが説明されました。また、自らが率先して行動することがリーダーシップとして重要であり、そういった【ミドルリーダー】を目指すきっかけにしてほしいとのことでした。



また、紺野宏子教職員担当部長の講話では、洋上研修や10年研修を経て、園全体への視野を持つミ

ドルリーダー育成に転換することになった経緯や、危機対応の基本、完璧ではなくても続けることが重要であることなど、たくさんのお話を頂きました。



その後、幼稚園の先生方は別室に移動し、幼児教育センターの担当者から提出物や様式についての説明を受けました。幼児教育センターの松井指導主事は、「このチームで1年間の研修を乗り越えるので、先生方はとっても仲良くなるんです。」と、今年のチーム（25人の先生方）も楽しみにされていました。

受講される先生方に、よい実りの機会となることを願い、最後にエールを送ります。＼(^o^)/フレー！フレー！中堅研！＼(^o^)/

平成30年度 札幌市幼稚園初任段階における研修

札幌市幼稚園初任段階における研修 スタートアップ研修が5月15日(火)に札幌市生涯学習センター ちえりあ で開催されました。

今年度から、滝野での宿泊研修に変わり、園外において教育センター等における1年次年間8日間、2年次2日間計10日間の研修を受けることになりました。新たにタイトルができ、今回は～さあ、ここからスタート!～ということで、開講式や研修についての話、講義が行われました。

開講式では最初に、札幌市幼児教育センター・野切担当課長から資質や能力を高めることの大切さ、子ども達の自発的な行動を引き出せる環境を整えることの必要性や、この研修を通し同期の仲間との絆を深めていって欲しいとお話がありました。

そして、札幌市私立幼稚園連合会 前田会長より、4月からの新任の先生たちの大変さを受け止めながら、その上で共に色々な気持ちを分け合い、1年後に充実

感、満足感を得られるよう、また子ども・保護者から信頼される先生になって欲しいとお話がありました。

次に、札幌市私立幼稚園連合会 芝木研究委員長より、子どものみとりや、社会人・先生として大切なことを学べる場であり研修を積み重ねることで理論を学び、実践に結び付け今まで以上に保育が楽しくなるようにと、研修の目的・意義についてのお話がありました。

その後「教員としての心構え、服装とマナー」の講義を札幌ゆたか幼稚園 丸谷雄輔園長に行って頂きました。様々なマナーについて具体的にお話頂き、新任の先生にも「この研修の目的」「新人でもできる3つの実行」等をワークで考えた後、何人かに発表して貰い一緒に考え、共感し合いながら進めて頂きました。最後に私たちの仕事は「ありがとう」と感謝される仕事。誇りを持っていこうという言葉に新任の先生たちも笑顔になっていました。



第1回「札幌幼児教育セミナー」

6月26日、かでの2・7で第1回「札幌幼児教育セミナー」が行われました。岐阜市 ひきえ子ども園 副園長 和仁正子先生をお迎えし、「ぼくが赤ちゃんの心になった」～子どもと紡ぐ暮らし～という演題でお話頂きました。

子ども達の様々なエピソードから、目には見えない環境(かけがえのない私たち・今を共に生きる保育者・園の文化、自然、地域)を通して、心躍る暮らしを子どもが出来ることが重要であり、この環境をいかに整えられるのかということに、保育者の専門性があるとお話を頂きました。そのためには、心を揺さぶられた場面、保育者が自ら書きたくなるような保育記録やエピソードをとり、子どもがその時、どのような心も

ちでいたのか、読み取っていくことが重要であるとのことでした。

後半は子どもたちのあそんでいるビデオを見ながら、参加されている先生に、どの様なことを感じとったかを話してもらいながら、ビデオに出てくる、それぞれの子どもたちの心もちを読み取り、分かりやすくお話下さいました。

主体的に生活するためには、私＝私たち 子ども＝保育者 このバランスをとり、一緒に生きていこうとする力をつけることが大切であるとのことでした。

今回は約200名の先生が参加されました。エピソードを聞きながら、笑ったり感動したりと心を揺り動かされた研修となりました。



政令指定都市私立幼稚園団体協議会報告

第58回政令指定都市私立幼稚園団体協議会が京都で開催されました。折しも報道等で目にした会員の皆様も多いと思いますが、今年度は7月5日(木)・6日(金)の集中豪雨の中での開催となりました。札幌市からは、前田会長・藪副会長・丸谷副会長・中村副会長・太田振興委員長・芝木研究委員長・米永広報委員長・古川認定こども園委員長・前鼻政令担当理事・坂本事務局長・佐々木P連会長・札幌市子ども未来局伊藤課長の12名で参加しました。今年度は、よろこびあふれる「私立幼稚園」に向けての協働作戦会議！のテーマのもと1日目は基調講演Ⅰ・基調講演Ⅱならびに協働作戦会議を行いました。

2日目の分科会ではそれぞれのテーマに沿って各市での取り組みや情報交換を行いました。

2日目は京都市内が豪雨のため様々な面で混乱状態な中での開催でした。

第58回 政令指定都市私立幼稚園団体協議会 京都大会プログラム

第1日目

1. 開会式（開会宣言・主旨説明）
2. 基調講演Ⅰ
演題『幼い瞳が見つめる未来』
講師 イラストレーター・絵本作家・
こどもみらい館館長／永田 萌 氏
3. 基調講演Ⅱ
演台『子も親も共に育つ家庭・地域・幼稚園』
講師 レジリエントシティ京都市統括監・
前京都市副市長／藤田 裕之 氏
4. 行政との協働作戦会議

第2日目

1. 分科会
 - 第1分科会（経営Ⅰ）
「魅力ある職場としての『私立幼稚園』に向けて」
～職場環境の向上と人材確保の方策～
意見交流都市 横浜市・神戸市
 - 第2分科会（経営Ⅱ）
「満3歳未満児が過ごす私立幼稚園」
～その現状と課題と可能性～ 情報交換会
 - 第3分科会（研究）
「満3歳未満児の保育と親子支援」
～受け入れのロマンティシズム～
講演・情報交換

《講師》京都大学大学院

人間・環境学研究科・臨床心理士

大倉 得史准教授

第4分科会（PTA）

「これからのPTA活動の展開」

～私幼ファンクラブとの共同みらいづくり～

講演・情報交換

《講師》京都市動物園 坂本 英房副園長

第5分科会（事務局）

「各政令市事務局の情報交換」

～各団体事務局の情報交換～



だいすき

第1回

マッキーの文房具

はる

NICHIBAN
tenori (てのり)

はんこのり

イチオシ



テープのりが今段々と増え、園でも使っている方が多いと思います。

ちょっとしたメモを手帳に貼りたい、クラス便りに写真を貼りたい・・・

そんな時に便利なのが、スタンプ感覚でポンと押すだけで貼れる tenori イチオシ！！

4点押すだけでしっかりと貼れます。

ペンケースの中にも入るコンパクトサイズですが、スタンプは500回分！！B5プリント4点貼りで約125枚分です。

表情が異なるキャラクターがキャップに描かれており、自分なりにカスタマイズも出来ます！

ボディーカラーは、レッド・グリーン・ブルーの定番に加えて限定色も出ています！

キャップとボディーを自分好みにつけ替えることもできます！

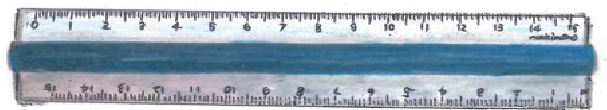


bande

人気文具

Masking Roll Sticker

ネイビーとオレンジ
があります！！



文具屋さん大賞2018マスキングテープ賞1位に輝いた、このマスキングテープロールステッカー！！マスキングテープに描かれている、さまざまなモチーフが1枚1枚絵柄の違うパーツに切り抜かれシールのようにめくることができます。

ねこや花、家や動物等種類もたくさんあります。カードやクラス便りに貼って模様にしたたり、封筒を留めるのに使ったり・・・色々と活用できるのではないのでしょうか。下の家も1枚で貼ったり3軒繋げたり出来ますよ。公式のInstagramでは使い方を紹介しています！



一つに絵柄は12柄、枚数にすると200枚！！たっぷり使えます！！

今年度も広報委員をさせて頂くことになりました、マッキーです！昨年に引き続き、こちらのコーナーで、私が使って便利だった、良いな！と思った文房具を紹介させて頂きたいと思います！

4月から新入園の子どもたちが加わり、新たなクラス作りに先生たちは毎日奮闘していることと思います。そんな中、少しでもスムーズに仕事が進み、心がウキウキする「お気に入りの文房具」が見つかるとうテンションがアップするのではないのでしょうか。

そんな文房具を紹介していけたら・・・と思っています！！



Mochimono

ひく

ピタットルーラー

定規で線を引いている時に、うっかり定規がずれてしまい線ががたつく・・・カッターで定規を当てて切ろうとしたら、アクリルを傷つけてしまう・・・。

この定規は、アルミ定規とアクリル定規が1本になっています。アルミはカッターが使える、アクリルは透明なので線が引きやすい！！しかも、真ん中に滑り止めがついているので、位置が決まったら上から軽く押すと密着し、定規が滑りません！15cmバージョンはペンケースにも入りますよ。30cmバージョンもあります。

連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

4月10日(火) 決算監査
4月18日(水) 総務委員会・理事会
4月24日(火) 振興委員会
4月27日(金) 広報委員会
5月15日(火) 初任段階における研修「スタートアップ研修」(ちえりあ講堂)
5月18日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定時総会(札幌ガーデンパレス)
5月21日(月) 研究委員会
5月22日(火) P連定期総会
5月28日(月) 広報委員会
6月7日(木) 初任段階における研修「保育参観研修1」(きくすいもとまち幼稚園)
6月12日(火) 認定こども園委員会
6月14日(木) 研究委員会
6月19日(火) 札幌市幼児教育講演会(ちえりあホール)
6月20日(水) 振興委員会
6月25日(月) 総務委員会・理事会
6月26日(火) 札幌市幼児教育セミナー(かでの2・7)
7月3日(火) P連ふれあい交流会(真駒内セキスイハイムアイスアリーナ)

7月5日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会京都大会
～6日(金)
7月9日(月) 広報委員会
7月25日(水) 初任段階における研修「理論・実践研修1」(ちえりあ講堂他)
～27日(金)
8月3日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3(2年次)」(ちえりあ講堂)
8月23日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代研修会神戸大会
～24日(金)
8月25日(土) さっぽろ・ようちえん・こどもえん・にこにこフェスティバル(市立札幌大通高校・中央幼稚園)
8月28日(火) リーダー“カ”スキルアップ講座(かでの2・7)
9月6日(木) 広報委員会
9月19日(水) 研究委員会
9月30日(日) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)
10月19日(金) 教育研究大会(札幌市民ホール他)
～20日(土)



参加者の93.2%が希望職種に入社できました！
札幌市私立幼稚園連合会主催
就職フェア2018
ミライノトピラ
日時 9月30日(日) 12:30～15:30
※受付は12:10から
会場 札幌ガーデンパレス 2F
札幌市中央区北1条西6丁目
一般社団法人 札幌市私立幼稚園連合会
011-671-3990
幼稚園や認定こども園の先生を目指す
あなたを応援します！
ここだけで得られる情報が盛りだくさん！
集まれ！ミライの先生たち！
・服装自由
・入退場自由
・申込不要
・入場無料

札幌市幼児教育センター 職員紹介

野切 卓(幼児教育センター担当課長)
松井 泰子(幼児教育企画・研修担当係指導主事)
本間 真純(幼児教育企画・研修担当係指導主事)
渋谷かおり(幼児教育企画・研修担当係指導主事)
坪井 康彦(幼児教育相談担当係指導主事)
伊藤 文雄(幼児教育相談担当係指導主事)
金澤 恵美(幼児教育相談担当係指導主事)



平成30年度 札幌市子ども未来局の私立幼稚園・認定こども園担当職員紹介

可児 敏章(子ども未来局長)
押見 幹生(子育て支援部支援制度担当部長)
佐々木直人(施設運営課長)
伊藤 弘己(保育推進担当課長)



進級・新入園児と共に新年度のスタートを切った4月から、あっという間に7月を迎えました。今年度新採用となった先生方にとっては、何もかもが新鮮で息つく間もなく1学期が終わる…といった心境ではないでしょうか。

冒頭でも登場した『あっという間』という言葉。年々、時が過ぎるのが早く感じられるのは何故なのでしょう。子どもの時には1日がとても長く感じられ、1年など永遠のように感じることもさへ…。とても不思議で気になったため調べてみました。すると、「新しいことをたくさん覚える若いうちは時間が長く感じ、経験を積んできて記憶することが少なくなると時間が短く感じる」、また「感受性が豊か

な子どもの頃の経験は、新鮮な驚きに満ちているため経験の内容が豊富で長く感じられ、大人になるにつれ新しい感動が少なく単調になり、時が早く過ぎるように感じる」とありました。なるほど、そういうことか…と妙に納得してしまいました。しかし、年を重ねても常に新しいことに挑戦したり、新しい刺激を取り入れるようにすれば毎日が充実し、感じ方も変わってくるそうです。まさに、毎日初めてのことに出会い、新鮮な驚きや発見に満ちた日々を過ごしている子ども達と共に生きる私達は、無意識に実践できていることを実感しました。幼児にかかわる仕事に就けていることに感謝です。

広報委員会のメンバーも新メンバーとなり、新たなスタートを切りました。今期も委員一丸となり、会員の皆様が読んでワクワクするような広報誌作りに尽力してまいります。(広報委員・天保 聖子)

